

授業研究部

○令和5年度に行った取組

○ふりかえりの視点の提示

- ・令和6年度から全学級で統一できるよう、ふりかえりの視点を考えた。

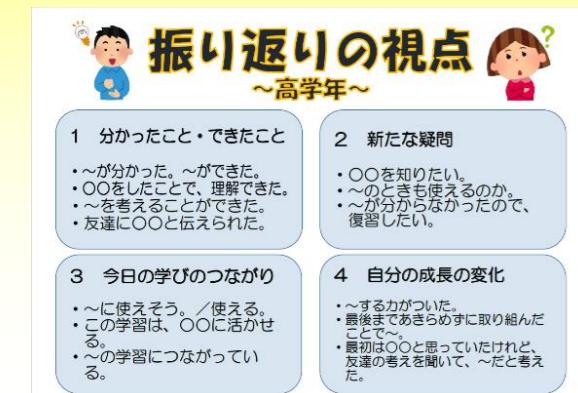
○わくわくタイムの実施

- 授業で使えるよう、Xチャートやクラゲチャートなどの思考ツールの使い方を、わくわくタイムで学ばせた。

○令和6年度に行った取組

○わくわくタイムの実施

- ・授業の振り返りに活かせるように、わくわくタイムを実施した。低学年は本の読み聞かせをし、その本についての感想を書き、友達同士で交流する活動をした。高学年は新聞の投書についての意見文を書いて、友達同士で交流したり、体育の振り返りをしたりと、実践的なものになるような活動をした。意見を交流することで、自分の考えと比べたり、よりよい意見を生み出したりすることができた。



○振り返りの視点の統一

- ・分かったこと・できしたこと、新たな疑問、今日の学びのつながり、自分の成長の変化について振り返りで書けるように掲示物を作成した。また、系統立てることによって、学年ごとのつながりを意識しながら振り返りをさせた。

○令和7年度に行った取組

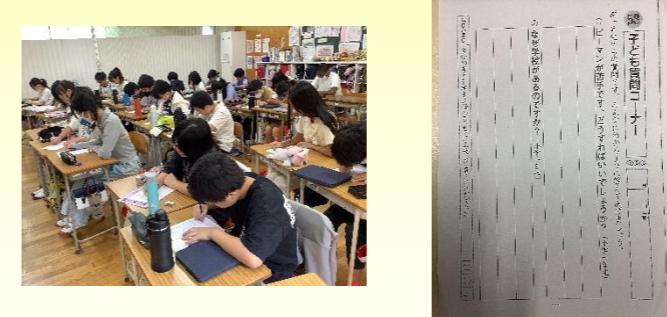
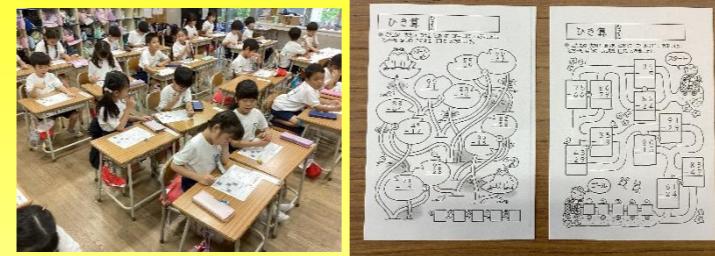
○振り返りの視点の再構築

- ・自分の成長の変化に向かえるよう、振り返りの視点を再構築した。また、メタ認知ができるように、なぜできるようになったのかも考えさせるようにした。



○わくわくタイムの実施

- ・令和6年度のわくわくタイムで、振り返りについて学習したので、今年度は主体的に学べるような学習をする時間とした。各学年、様々な教科に取り組んだ。



○目指す児童像の共有

- ・保護者や児童向けに、目指す児童像の共有を図った。毎月の全校朝会における校長講話で、「生活のさしすせそ」や「学びのさしすせそ」についての話があり、目指す児童像に繋がっているイメージを示した。



[詳しくはコチラ](#)



成果(○)

- 振り返りについては、今年度も掲示物を作成することで、授業時に毎回確認をしながら書くことができた。自分の学習を振り返り、次時に繋げることができた。
 - わくわくタイムでは、子どもが楽しんで学習に向かう姿が見られた。
 - めざす児童像を共有したことで、学校として何を目指しているのかを明確にすることができた。

課題(▲)

▲授業の中で振り返りに取り組むことはできたが、学び方を学ぶ視点が子どもの中から自然に出るようにする必要がある。自己調整ができるような授業展開について、学びを深めていきたい。